

令和4年度 第2回 指定公立国際教育学校等管理法人評価委員会 議事概要

開催日時：令和4年12月16日（金）15時30分～17時30分

開催場所：大阪府立水都国際中学校・高等学校

出席委員：新生委員、池田委員、大迫委員、大野委員、山下委員

議事概要：

1 開会

2 議事

(1) 令和4年度 指定管理法人 管理運営業務評価について

- ・評価結果についての説明・報告
- ・質疑応答等（○：委員、■：事務局、▲：指定管理法人）
 - 評価方法は指定管理者制度に準じているのか。
■準じている。
 - 今回の評価の対象期間はいつか。
■令和4年度を対象とし、10月に所管課の評価を行った。
本評価委員会で頂いた提言を受けて、教育庁が対応方針を策定し、それを踏まえて法人が次年度の事業計画書を策定する。
 - 所管課の評価はどのように行ったか。
■提出書類の確認、ヒアリング、現地調査を踏まえて行った。
 - 安全対策についての評価が厳しいのではないか。
▲引っ越し前の正門管理の観点を踏まえた評価である。
■令和4年度の総合的な評価として、Bとした。
 - 管理代行料の精査はどのようにおこなっているのか。
■学期ごとに提出される決算見込書を確認するとともに、聞き取りを行っている。
 - 外国人教員の出身国で取得した教員免許の有効期間の確認はどうしているのか。
▲提出された教員免許で確認している。
 - 外国人教員等の採用にあたっては、犯罪経歴証明書の提出を求めているか。
▲提出は必須である。

- カウンセリング室の設置やスクールカウンセラーの配置状況は。
- ▲カウンセリング室は設置し、スクールカウンセラーは週1回の勤務としている。
- IBコースの教材費はどれくらいかかっているのか。
- ▲10万円程度かかっているが、軽減できるよう工夫しているところである。
- 学校HPは校内でだれが担当しているか。
- ▲事務職員が担当している。
- IBの手法を取り入れた授業とは具体的にどういうことか。
- ▲高校における全生徒のIB科目「知の理論(TOK)」や「IB英語」の履修、一部のIB科目を選択できるようにしていることである。IBコース以外でもIB授業を学べるような仕組みとしている。
- 特別免許状制度は全国的な取り組みか。
- 全国で制度化されている。
- 府の研修は英語によって行われることはあるか。
- 原則は日本語による研修である。
- 他の公設民営学校との協議会のようなものはあるのか。
- 公設民営による中高一貫教育校は、水都国際のみであり協議会はない。
- ▲IBの普及を目的とした文部科学省によるIB教育推進コンソーシアムはある。
- 今後、民間の知見を活かした学校運営によって、B評価を減らしS評価をめざす取組をすすめてほしい。
- 来年度の評価基準については、定性的なものも盛り込む方向で検討してほしい。

(2) 今後の流れについて

- ・事務局から今後の評価結果の取扱いについて説明

3 閉会